

国土交通省 独立行政法人評価委員会（第8回）議事要旨

1.日 時：平成18年3月9日（木）15：30～17：00

2.場 所：国土交通省総合政策局共用会議室（中央合同庁舎3号館3階）
（東京都千代田区）

3.出席者：別紙のとおり

4.議 題

- （1）「国土交通省所管独立行政法人の業務実績評価に関する基本方針」の改正
（議決事項）
 - 年度評価の改善について
 - 中期目標評価の基準策定について
- （2）報告事項
 - 行政改革を巡る動きについて
 - 先行法人の次期中期目標等について
- （3）その他

5.議事概要

冒頭、国土交通省渡邊政策統括官より挨拶

議事

- （1）「国土交通省所管独立行政法人の業務実績評価に関する基本方針」の改正
（議決事項）
 - 年度評価の改善について
 - 中期目標評価の基準策定について

の事項（項目別評価を4段階評価から5段階評価へ変更する等年度評価の方法を手直しすること）、の事項（中期目標期間終了時の評価の方法を新たに定めること）、及び法人の特殊事情による評価基準の弾力的運用を認めること等について、事務局から昨年秋に開催された分科会長懇談会における議論を紹介しながら一括で説明。委員から以下のような質問・意見等の発言があった後、最終的に、事務局案が了承された。

5段階評価の評点の際の判断基準は何か。印象で評価することにならないか。

判断基準の表現ぶりは議論しても結論が出ない問題。

「社会的な評価を念頭に置く」とあるが、これはどういうものか。どういった場合に「法人の特殊事情」に当たるとして弾力的運用が出来るのか、今後の運用を見て、委員会で議論をしながら考えていって欲しい。

弾力的運用については具体的に何を想定しているのか。また、弾力的運用が認められなかった場合の弊害は何か。

今まで、0～4点までの4段階評価であったが、この0点とは、一定の合格点に達しないものということなのか、それとも0点の答案に相当するものなのか、その考え方が非常に難しかった。こういった意味からも、今回、1～5点の5段階評価にするということは良いと思う。

他省や大学評価も、5段階評価の方がやりやすいということになってきている。今回、5段階評価へ移行することは、一つの到達点ではないか。

(2) 報告事項

行政改革を巡る動きについて

事務局より、昨年末に閣議決定された「行政改革の重要方針」における独立行政法人関係の事項について報告した。

中期目標評価の基準策定について

事務局より、本年4月に第2期の中期目標期間がスタートする国土交通省所管独立行政法人の中期目標・中期計画の案を報告した。

速報のため事後修正の可能性有り

【問い合わせ先】

政策統括官(政策評価担当)付政策評価官室 尾本・本村

電話：03-5253-8111(内線53402・53413)

FAX：03-5253-1674

第8回国土交通省独立行政法人評価委員会委員出席者名簿

(敬称略・50音順)

委員長	木村	孟	大学評価・学位授与機構長
委員長代理	杉山	武彦	一橋大学学長・大学院商学研究科教授
委員	家田	仁	東京大学大学院工学系研究科教授
〃	石津	寿恵	明治大学経営学部助教授
〃	岩田	好一朗	中部大学工学部都市建設工学科主任
〃	後	千代	愛知大学経営学部助教授
〃	北村	信彦	公認会計士
〃	小山	健夫	東京大学名誉教授、(株)日本海洋科学 技術研究所代表
〃	櫻井	敬子	学習院大学法学部教授
〃	佐藤	喜子光	立教大学観光学部教授
〃	杉山	雅洋	早稲田大学商学学術院教授
〃	大聖	泰弘	早稲田大学理工学部教授
〃	高橋	保	京都大学名誉教授、(財)防災研究協会理事
〃	高山	朋子	東京経済大学経営学部教授
〃	福井	康子	都市経済研究所主任研究員
〃	松尾	稔	名古屋大学名誉教授、(社)国立大学協会専務理事
〃	水町	守志	芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科教授
〃	盛岡	通	大阪大学大学院工学研究科教授
臨時委員	加藤	俊平	東京理科大学名誉教授
〃	長澤	徹明	北海道大学大学院農学研究科教授
〃	中田	信哉	神奈川大学経済学部教授
〃	三井所	清典	建築家・芝浦工業大学工学部教授